

表1. 主な研究論文の不正(理工医系)

No.	発生年	組織	概略	特許の話題の有無
1	2004年(12月)	理化学研究所	論文データを改ざん(研究者退職)	-
2	2005年(5月)	大阪大学	肥満研究の論文データに不正があったとして論文取り下げ(二教授停職)	-
3	2005年(9月)	東京大学	遺伝子研究論文で、実験ノートなどがなく研究内容の再現できなかったと発表(教授懲戒解雇)	特許取り下げ要求(産総研調査委員会)
4	2006年(4月)	神戸大学	ダイヤモンド切削技術における実験データを捏造し出願した特許の取り下げ(教授と特許担当教授処分)	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの助成金に関連し、特許の取り下げ
5	2006年(9月)	大阪大学	実験データの捏造・改ざんを行い、共著者に無断で論文誌へ投稿(教授懲戒解雇) (告発者保護の課題:告発者の助手自殺)	-
備考	2002年	ベル研究所(米国)	ナノテクノロジー(超微細技術)などの論文捏造(研究者解雇)	-
	2005年	ソウル大学(韓国)	胚(はい)性幹細胞(ES細胞)論文で捏造、論文取り下げ(教授)	-

(文献8) 参議院:“研究活動にかかわる不正行為”、立法と調査、261号(平成18年10月27日)

<http://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/kounyu/20061027/20061027112.pdf>